

科目名	ヨーロッパの歴史A
科目名(英訳)	History of Europe A
科目ナンバー	HH233D02
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	佐々井真知
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 佐々井真知: 金3-4
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	歴史学分野テーマ科目。各時代・分野・地域の概要を理解するための基礎的な科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②: ◎ ③-(1): ○ ③-(2): ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	西洋の歴史を、西ヨーロッパを中心に概観する。	
具体的 達成目標	西洋の歴史の流れを理解することができる。特定の歴史的事件・事象に対するこれまでの歴史学の評価を理解し、その妥当性を考察することができる。身近な事象から歴史を考えることができる。	
	1	【内容】 第1回 ガイダンス／ヨーロッパの基本情報の整理
		【授業外学習】 事前: ヨーロッパの地理・気候・言語について知っていることを書き出しておく。 事後: 授業で学んだヨーロッパの基本情報を整理する。
	2	【内容】 第2回 中世世界の成立
		【授業外学習】 事前: ヨーロッパの中世のイメージを挙げておく。 事後: 中世世界の成立について、理解したことをまとめる。
	3	【内容】 第3回 中世世界の発展
		【授業外学習】 事前: 現代のヨーロッパとキリスト教とのかかわりの例を挙げておく。 事後: 中世盛期におけるキリスト教の影響について、まとめる。
	4	【内容】 第4回 中世世界の崩壊
		【授業外学習】 事前: 黒死病(ペスト)流行後の社会について、推測しておく。 事後: 中世世界の崩壊の要因をまとめる。
	5	【内容】 第5回 色彩に見る西洋中世
		【授業外学習】 事前: 色に持つイメージを挙げておく。 事後: 西洋中世の人びとにとっての色彩の意味をまとめる。
	6	【内容】 第6回 ヨーロッパ世界の拡大

④ 授業計画	7	【授業外学習】	事前:いわゆる「大航海時代」について、知っていることを書き出しておく。 事後:ヨーロッパ世界の拡大とその影響について、まとめる。			
		【内容】	第7回 ルネサンス			
	8	【授業外学習】	事前:ルネサンスのイメージを挙げておく。 事後:ルネサンスの発生と発展、衰退の流れと要因について、まとめる。			
		【内容】	第8回 宗教改革			
	9	【授業外学習】	事前:宗教改革について、知っていることを書き出しておく。 事後:宗教改革の流れと後世への影響を整理し、まとめる。			
		【内容】	第9回 主権国家体制の形成			
	10	【授業外学習】	事前:現代の国と国の関係のあり方を考えておく。 事後:近世ヨーロッパの主権国家体制について学んだことを整理する。			
		【内容】	第10回 産業革命			
	11	【授業外学習】	事前:産業革命が後世にもたらした影響を推測しておく。 事後:産業革命の要因、経過、人々への影響を整理する。			
		【内容】	第11回 フランス革命			
	12	【授業外学習】	事前:フランス革命について知っていることを書き出しておく。 事後:フランス革命の革命性について、自分の意見をまとめる。			
		【内容】	第12回 近代国民国家の発展			
	13	【授業外学習】	事前:「国民」とは何か、考えておく。 事後:近代国民国家の形成と発展についてまとめる。			
		【内容】	第13回 帝国と植民地			
	14	【授業外学習】	事前:植民地主義が現代に与えている影響を考えておく。 事後:帝国主義が当時の世界と後世に与えた影響をまとめる。			
【内容】		第14回 食事に見る西洋近代				
15	【授業外学習】	事前:歴史上の出来事と食事の変化との関係を、推測しておく。 事後:食事という切り口で歴史を考える際の注意点を考える。				
	【内容】	第15回 衣食住で考える西洋史				
15	【授業外学習】	事前:衣食住から西洋史を考察する可能性を考えておく。 事後:授業で扱ったテーマ以外での、「衣食住で考える西洋史」を考える。				
	【内容】	第15回 衣食住で考える西洋史				
④ 授業方法	講義形式で行う。レジュメを配布するとともに、プロジェクターを利用して画像を提示する。 毎回のミニレポートの解答例や解説は、次回の授業の冒頭で取り上げる。					
④ 成績の 評価方法	毎回のミニレポート、期末レポートで評価する。授業の妨げになるような行動(私語など)は、成績評価に影響する。					
④ 成績の 評価基準	毎回のミニレポートの内容45%、期末レポート55%で評価する。100点満点中60点以上を合格とする。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『大学で学ぶ西洋史[古代・中世]』	服部良久・南川高志・山辺規子 編著	ミネルヴァ書房	2800円	9784623045921
	2.	『大学で学ぶ西洋史[近現代]』	小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦 編著	ミネルヴァ書房	2800円	9784623059386
	3.	『教養のための西洋史入門』	中井義明・佐藤専次・渋谷聡・加藤克夫・小澤卓也 著	ミネルヴァ書房	2500円	9784623049097
	4.	『西洋世界の歴史』	近藤和彦 編	山川出版社	3200円	9784634645400
④ 備考	授業はレジュメに沿って進めるが、受講生が記入する部分が多いため、集中して授業に臨む態度が求められる。授業計画は、受講生の人数などによって変更する可能性がある。参考文献は、それぞれの授業でも紹介する。					
④ 関連 ホームページ						

 メール アドレス	佐々井真知 swx8206@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	